

賛助会費・ご寄付、ありがとうございました！！

「守る会」に令和4年度も賛助会費・ご寄付を納入頂き、ありがとうございました。令和4年度の賛助会員、ご寄付をいただいた方をご紹介します。皆様からの会費、寄付は、主にこの会報作り、県内各地域で行う茶話会等に大切にに使わせていただいています。今年度は、東北ブロック大会もありますので、有意義に使わせていただきます。どうぞ、5年度におきましても、宜しく願います。

(順不同にて掲載させていただきました。)

<賛助会員>

- | | | |
|-----------------------|-----------------------------|---------------|
| 盛岡市 村井 研一郎 様 | 盛岡市 伊東 宗 行 様 | 盛岡市 小野寺 けい子 様 |
| 盛岡市 細田 重 憲 様 | 盛岡市 木村 純 子 様 | 盛岡市 紺野 秀 子 様 |
| 盛岡市 福井 せいじ 様 | 盛岡市 米沢 俊 一 様 | 盛岡市 匿名 希 望 様 |
| 滝沢市 原 瑞 恵 様 | 北上市 小原 奈保子 様 | 奥州市 藤原 裕 子 様 |
| 一関市 遠藤 棟 子 様 | 宮古市 木村 守 男 様 | 矢巾町 小松原 弘 子 様 |
| 奥州市(有)オックス画房 様 | 盛岡市 社会医療法人 智徳会 未来の風 せいわ病院 様 | |
| 盛岡市(株)IBC岩手放送 様 | 盛岡市 社会福祉法人 わかば会理事長 鈴木 浩太郎 様 | |
| 盛岡市(株)ベルジョイス 様 | 奥州市 社会福祉法人 ひまわり はびいウィング 様 | |
| 盛岡市 自立生活センター もりおか 様 | 盛岡市 医療法人日新堂 理事長 八角 有紀 様 | |
| 紫波町 特定非営利活動法人 紫波さぶり 様 | 宮古市 社団医療法人 新和会 宮古山口病院 様 | |

<寄 付>

- | | | |
|--------------------------------|-------------|--------------|
| 奥州市 後藤 逸夫 様 | 奥州市 後藤 文子 様 | 一関市 千葉 令子 様 |
| 盛岡市 田村 輝雄 様 | 盛岡市 匿名希望 様 | 一関市 和泉 勝彦 様 |
| 盛岡市 盛岡さくら会 様 | 盛岡市 吉田 紀行 様 | 大船渡市 今野 敏江 様 |
| (独) 国立病院機構 岩手病院 「岩手あすなろの会」 様 | 盛岡市 匿名希望 様 | |
| (独) 国立病院機構 釜石病院 「しゃくなげ愛育園の会」 様 | | |

<編集後記>

令和五年度通常総会では、対面での開催ということとWeb参加もあって盛会だった。谷川幸子東北ブロック長のご挨拶では、初めに2月に亡くなられた北浦雅子会長へのお悔やみを述べられ、そして4年ぶり開催となるブロック大会を共に頑張ろうとメッセージをいただいた。ご来賓の挨拶からすでに熱の入りようが素晴らしい。

総会の中で、小山みちのく療育園メディカルセンター施設長は、「医ケア児相談センターへの問い合わせは、受け入れ自治体からのものが殆ど。福祉と医療の連携とサポートが大切。災害対応が震災クラスに傾いている。日常的注意報レベルの避難計画を考える必要がある。医ケア法は障害児を学校へ通わせる法と理解している。県での対応を評価している。」と話された。

Web参加の千葉淑子ポケットの会会長から、一関地域で「医ケア児向けのNPOを立ち上げ、訪問専門で重い子から引き受ける方針。重い子が避けられる現状を打破したい。これらの活動への支援を」と報告があった。

あらゆる課題や問題には、対面でのコミュニケーションが何よりなのだと感じた。(和泉 勝彦)



東北障害者団体定期刊行物協会／宮城県仙台市青葉区角五郎1丁目12-6 【頒価100円】

岩手県重症心身障害児(者)を守る会

第122号 2323.6.15発行



会報 愛の手

編集・発行／岩手県重症心身障害児(者)を守る会
〒020-0831 盛岡市三本柳8-1-3 ふれあいランド岩手内
TEL.019-601-2255 FAX.019-601-2255(共有)
E-mail:mamoru2255@gmail.com 発行責任者／齊藤 勉



守る会の三原則

- 1. 決して争ってはいけない 争いの中に弱いものの生きる道はない
- 1. 親個人がいかなる主義主張があっても重症児運動に参加するものは党派を超える
- 1. 最も弱いものをひとりもれなく守る

ごあいさつ

岩手県重症心身障害児(者)を守る会会長 齊藤 勉



会員の皆様には、日頃から守る会の運営につきまして、格段のご理解とご協力を頂いておりますことに、厚く御礼を申し上げます。

5月7日には4年ぶりに対面で総会を開催することができました。また、拙いながらハイブリットにも挑戦いたしました。

さて、新型コロナウイルス感染症も3年目となり、5月から感染症法上2類から5類感染症に位置づけられました。早く収束しウイズコロナ社会の新しい生活ができ、従来のように自由な活動が取れるよう願うばかりです。

守る会としては、重症心身障害児(者)が暮らしやすい地域社会の実現のために、会員一人一人が各地域において重症心身障害児(者)への理解が得られ、より良い制度、より良い福祉サービスとなるよう自らが行動し、社会の共感が得られる運動を展開する必要があると思っております。

これまでの支部活動を継続し、さらに発展させ、県、市町村などの行政機関、福祉サービス事業所、他の障害者団体などと連携を密にし、重症児者を取り巻く課題を克服すべく取り組みたいと思っております。

また、今年度は、第24回重症心身障害児(者)を守る東北ブロック大会・研修会岩手大会を、9月29日(金)～30日(土)の2日間 花巻市新鉛温泉 結びの宿「愛隣館」にて開催致します。

～想いを声に～ をテーマに

”最も弱いものをひとりもれなく守る”のもとに私たち親がいかなる時もつながり声を出し続けようを目的とし岩手県から、重症心身障害児(者)を取り巻く課題、取り組み等を、東北及び全国に発信するものであります。3年ぶりのブロック大会ですがコロナ対策には万全の対応を期して開催致します。関係各位のご参加をお待ち申し上げます。

最後に、今後とも守る会に対するご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和5年度 定時総会資料 令和5年5月7日(日) (すべて承認 案、削除)

第1号 令和4年度事業報告

令和4年度においても新型コロナウイルス感染症が全国的に感染拡大し、第7波、第8波と感染者が増加しましたが、最近ようやく減少傾向が見られます。

このような状況により、今年度も昨年度同様コロナ禍の中での活動状況でした。その中で5月の定時総会については、今回初めての試みとして対面とweb会議を併用して報告会として開催いたしました。当日出席されました来賓の皆様には、出席者全員よりご挨拶を賜り、その後重症児者の支援や日頃の守る会の活動に対するご意見、行政への要望等に関して忌憚のないご意見、ご要望などをお話し合う意見交換の時間を設けました。ご来賓の方々や、参加者より有意義なご意見等を頂きました。

また、令和5年9月に開催予定の東北ブロック大会の岩手大会についても、ブロック大会実行委員会を発足し大会内容等について種々協議しております。

このように、コロナ禍の中守る会としては、重症心身障害児者にとってより良い制度、より良い福祉サービスにすべき次のような活動をしてまいりました。

- ・北上市自立支援協議会 重心ワーキンググループへの出席
- ・奥州市自立支援協議会 医療的ケア児等支援部会への出席
- ・盛岡市障がい児教育推進会議への出席、
- ・岩手県立大学看護学部授業「看護学総合実習」に係る講師派遣
- ・「令和4年度 重症心身障害支援者育成研修会」に係る講師派遣
- ・令和4年度岩手県障がい者関係団体との意見交換会への出席
- ・岩手県医療的ケア児支援センター設置についての説明会への出席
- ・医療的ケア児研修セミナーへの講師派遣
- ・県央広域圏交流茶話会（北上市）
- ・盛岡広域圏交流茶話会（盛岡市）
- ・岩手県医療的ケア児支援センターと守る会との懇談会

(1) ・岩手県重症心身障がい児・者及び医療的ケア児・者支援推進会議への出席 **令和4年度活動報告**

1. 令和4年度 活動報告

1 会議等

令和4年度定時総会報告会	5月8日 書面議決・委任状・報告会直接参加 Web 配信
三役会議 (5回)	4月9日 4月23日 6月18日 9月18日 1月15日
理事会 (5回)	4月9日 5月1日 6月18日 9月18日 1月15日 Web・・・参加有
東北ブロック大会 実行委員会	6月18日(第1回) 11月18日(現地地下見) 11月29日(名鉄との打ち合わせ) 1月15日(第3回) 3月11日(第4回)

2 本部及び東北ブロック事業

全国重症心身障害児者を守る会 全国大会	中止
全国支部長会議	6月25日 3月25日 Webで齊藤会長参加
第24回東北ブロック	平成4年度 中止

宮城大会	
東北ブロック運営委員会 役員会	運営委員会 7月2日 於：仙台市 3月4日 齊藤会長参加 遠藤・齊藤会長参加

3 行政、関係団体関連

岩手県障害者関係団体との 意見交換会	書面にて要望提出 9/22 回答 10月17日 障がい福祉課より (ホームページに掲載)
岩手県の療育を考える会 理事会	中止
岩手県障がい者社会参加 推進会議	中止
盛岡市障がい児教育 推進会議	6月30日(水) 於：盛岡市総合福祉センター 小松原出席 2月8日(水) 於：盛岡市総合福祉センター
盛岡市自立支援協議会	12月26日 於：盛岡市 石川出席
北上市自立支援協議会	5月19日、7月5日 9月30日 於：北上市 遠藤出席
奥州市自立支援協議会	【医療的ケア児等支援部会】 6月7日、9月7日、10月26日、12月7日 R5.2月22日 【運営委員会】7月25日 R5.3月2日 【親 会】8月1日 R5.3月10日 於：奥州市 伊藤出席
寄り添う奥州会議プロジェ クト出張懇談会	・地域医療等について・・・新水沢病院での医療的ケア児者、重症心身障 害児者のためのショートステイの要望 ・産婦人科と小児科に特化した新水沢病院になるよう要望 ・新水沢病に小児が利用できる訪問看護及び訪問リハビリの充実について 要望 医療的ケア児等支援部会長、守る会理事として伊藤出席
令和4年度岩手県重症心身障 害児(者)及び医療的ケア児者 支援推進会議	第1回 8月4日 第2回 令和5年1月31日(Webで参加) 齊藤会長出席
いわてチルドレンズヘルスケ ア連絡会議運営委員会拡大 会議	3月5日(Web参加) 齊藤会長出席
盛岡広域圏医療的ケア連絡協 議会	8月3日 (盛岡市役所) 11月29日 (Web参加) 澤口出席
盛岡市との災害時個別避難計 画について	作成、協議継続中 澤口出席
雫石町地域福祉課災害時個別 避難計画について	協議 澤口出席
紫波矢巾圏域医療的ケア児 WG	6月28日 8月31日 11月1日 2月2日 藤村出席
矢巾町総合防災訓練	10月15日 藤村出席
医療的ケア児センター 避難計画研修	1月31日 藤村出席
岩手県医療的ケア児センター 懇談会	10月20日 3月22日 齊藤会長他出席
みちのく療育園25周年 記念式典	11月5日 齊藤会長他出席

研修会等講師、発表者	重症心身障がい支援者養成研修（藤村、澤口） 小児神経学会「医療的ケア」研修セミナー（藤村） 医療的ケアコーディネーター研修養成セミナー（藤村、澤口）
------------	--

4 主催事業

茶話会 (②本部活性化支援事業)	① 県央広域圏交流茶話会 11月24日(木)参加者:16名 北上飯豊地区交流センターにて ② 盛岡広域圏交流茶話会 2月4日(土)参加者:17名 ふれあいランド岩手にて
会報発行 (3回) (財)岩手県福祉基金 助成事業	会報「愛の手」発行 6月15日(119号) 9月15日(120号) 12月15日(121号)
ホームページ	更新して継続配信 会報、会員活動報告、茶話会案内等掲載

2【国立施設部会】活動報告

「東北ブロック国立施設部会総会」 書面議決

① 岩手病院・釜石病院・花巻病院 活動報告 コロナ禍のため活動中止

3【重症児施設部会】活動報告

「東北ブロック重症児施設部会」 コロナ禍のため活動中止

① みちのく療育園メディカルセンター 活動報告

月	日	名称	内容	場所
5	14	保護者の会	理事会	矢巾町「やはばーく」
6	25	保護者の会	園内整備	みちのく療育園
9	17	保護者の会	園内整備	みちのく療育園
11	5	みちのく療育園メディカルセンター	20周年式典	矢巾町田園ホール

4【母親部会】活動報告

「県央広域圏交流茶話会」を2年ぶりに令和4年11月24日、在宅部会と共に実施した。

子どもの将来のこと、現在の生活のこと、緊急時の避難のこと等について活発な意見交換がなされた

5【在宅部会】活動報告

月	日	名称	内容	場所
6	18	東北ブロック大会会議	東北ブロック大会について	ふれあいランド
	28	紫波矢巾圏域医療的ケア児WG	今年度の活動について	矢巾公民館
8	4	重症心身障がい支援者育成研修会・講師2名(藤村・澤口)	守る会について・重心身障がい児・者の親として地域に生きる思いや願い	高校会館
	31	紫波矢巾圏域医療的ケア児WG	医療的ケア児アンケートについて	紫波町役場
9	5	社会福祉事業団第1回運営協議会	令和3年度事業報告・4年度事業計画	web
10	14	岩手医大看護科助産学専攻科講座	重心医ケア児等家族支援の3つの柱	岩手医科大学
	15	矢巾町総合防災訓練参加	要配慮者の防災訓練参加	矢巾町体育館
	20	岩手県医療的ケア児センター懇談	医療的ケア児センターについて	みちのく療育園 MS
11	1	紫波矢巾圏域医療的ケア児WG	医療的ケア児アンケートについて	矢巾公民館
	3	小児神経学会「医療的ケア」研修セミナー	今まで、これからの息子二人の自立への子育て	アイーナ
	5	みちのく療育園25周年記念式典	記念式典	矢巾町田園ホール
	12	全国守る会在宅専門部会	今年度のアンケート活動報告など	web

	14	医ケアコーディネーター研修(藤村・澤口)	家族支援・本人、家族の思いの理解	web高校会館
	18	東北ブロック大会会議	愛隣館下見	愛隣館
	24	県央広域圏茶話会	家族5名・花巻、北上行政・相談支援員	飯豊地区交流センター
12	22	県障害福祉課懇談	県委託事業療育キャンプについて	ふれあいランド
1	31	医療的ケア児センター避難計画研修	矢巾町総合防災訓練に参加して	web
2	2	紫波矢巾圏域医療的ケア児WG	医療的ケア児アンケートについて	紫波町役場
	4	盛岡圏域茶話会	家族6名・県、盛岡コーディネーター他	ふれあいランド
3	22	岩手県医療的ケア児センター懇談	医療的ケア児センターの動向他	みちのく療育園 MS

【令和4年度活動のまとめ】

・今年度は、4年ぶりに県央広域圏(花巻・北上)茶話会、盛岡圏域茶話会を開催することができました。皆さんの現在の生活の様子や今後の生活や進路の不安、緊急時の個別避難計画等様々な話題が出されました。「今までコロナ禍で外に出るのを躊躇していたけどやはり対面で話すと違いますね」との声が聞かれ、これを機会に少しずつ動き出したいと話されており、茶話会の重要性を感じました。引き続き年2回、開催していきたいと思っております(5年度は、県北、沿岸予定)

・盛岡となん支援学校が矢巾町に移転後、「通学距離が長くなった」「医療的ケアの児童が増えてきている」ことにより、盛岡圏域で支援学校に通学する保護者の方の送迎困難の問題が大きくなってきています。そのため、現状はどうなのか、令和2年2月からアンケートを行いまとめ、県や市、教育委員会へと解決策を要望と共に、訴えていく予定でしたが、コロナ禍でなかなか活動ができず、現在要望書と共に再検討し、5年度初めには県や市町村へ提出予定です。

6【医療的ケア児部会】活動報告

月	日	名称	内容
7	8	岩手県立大学看護学部4年	小児ゼミ
8	4	重症心身障がい支援者養成研修	講師
11	14	医療的ケア児コーディネーター養成研修	講師
8	3	盛岡広域医療的ケア連絡協議会(11/29)	参加
7	8	盛岡市との協議(8/17,11/7,2/6)	災害時個別避難計画作成 協議継続中
10	11	雫石町地域福祉課との協議	災害時個別避難計画の件で協議
10	20	岩手県医療的ケア児支援センターとの懇談会	(3/22)
1	31	岩手県医療的ケア児支援センター主催(3/23)	災害時支援のための勉強会参加

7【各分会活動報告】

① 盛岡圏域分会「のあ」

月	日	名称	内容	場所
12	26	盛岡市自立支援会議	地域生活支援拠点事業	プラザおでって
2	4	盛岡広域圏茶話会	医療的ケア児者の在宅や学校生活の現状についての話し合い	ふれあいランド岩手
3	13	来年度の活動について		ふれあいランド岩手

② 県北圏域分会「カシオペア」 コロナ禍のため活動中止

③ 沿岸圏域分会「ウエルカム」

○月2回活動・・・音楽療法 ・理学療法士による活動 ・体力測定等

④ 県南圏域分会 コロナ禍のため活動中止

第2号 令和4年度 一般会計収支決算 収入

繰越金 379871

項目	本年度予算額	本年度決算額	増減	摘要
正会員会費	2,928,000	2,849,000	-79,000	237名 5000円 免除3 未納4
賛助会費	150,000	127,000	-23,000	27名
寄付金	150,000	414,630	264,630	本部 しゃくなげ愛育園の会、あすなる会 個人6名
助成金	200,000	200,000	0	岩手福祉基金
参加費	0	0	0	
戻入金	0	-12,000	-12,000	会費返金(盛岡医療センター1名分)
雑収入	12	11	-1	利息
繰越金	843,193	772,299	-70,894	
合計	4,271,205	4,350,940	79,735	

支出

項目	本年度予算額	本年度決算額	増減	摘要
本部会費	2,049,600	1,932,000	-117,600	230名分
事務費	650,000	650,181	181	インク、コピー用紙、切手等
通信費	100,000	140,580	40,580	電話、NTT、ヤマト運輸他
HP	150,000	100,100	-49,900	ホームページ関係
旅費・会議費	180,000	287,000	107,000	三役会、理事会等
Web会議・回線使用関係	25,000	28,000	3,000	参加延べ11名、回線3回
地域福祉活動事業	100,000	0	-100,000	(茶話会2回 旅費事務費で支出)
会報発行事業	300,000	270,799	-29,201	119,120,120号発行
地区活動費	40,000	40,000	0	盛岡、県北、沿岸、県南
部会活動費	60,000	60,000	0	母親、在宅 医ケア部
入居料	130,000	138,193	8,193	ふれあいランド使用料
負担金	152,000	3,610	-148,390	TSK年会費 東北ブロック負担金・会費・療育を考える会中止
予備費	334,605	49,842	-284,763	
合計	4,271,205	3,700,305	-570,900	

<残高> 総収入 ー 総支出 = 繰越金
4,350,940 ー 3,700,305 = 650,635

繰越金 650,635

令和4年度 特別会計収支決算

項目	本年度予算額	本年度決算額	増減	摘要
収入繰越金	379,869	379,869	0	
収入利息	2	2	0	
支出繰り出し	0	0	0	
合計	379,871	379,871	0	

令和4年度(2022年度)岩手県重症心身障害児(者)を守る会の一般会計及び特別会計において、令和5年4月4日ふれあいランド岩手において監査した結果、適正に処理されていることを認めます。

令和5年5月7日

監事 平山美子 印
監事 千葉カズ子 印

第3号 ① 令和5年度 活動方針

新型コロナウイルス感染症も感染発症から3年を過ぎ、ようやく感染状況が減少気味となり、5月8日から感染症法上2類から5類感染症に位置づけられることとなりました。重症心身障がい児者の場合は、呼吸器疾患が多く感染症に弱いことから、引き続き慎重な姿勢は必要ですが、少しずつ面会・行事等への参加が可能となり、対面での会議や研修等様々な活動について、感染状況を見ながら徐々に再開したいと思います。

令和5年4月には「こども家庭庁」が創設され、障がい児支援施策は厚労省からこども家庭庁に移管され、子育て支援施策の中で一元的に推進されることとなりました。

厚労省とこども家庭庁の緊密な連携のもと、年齢で分断されることのない「児者一貫」の施策が継続されるよう運動してまいります。

守る会岩手県支部としても、このような状況を踏まえ重症児者の生活支援は、地域での生活支援が基本となりますが、医療支援を必要とする重症心身障害という特性があり、在宅支援と施設支援との組み合わせによる支援体制が重要と思われます。

さて、本年9月29日～30日に、第24回重症心身障害児(者)を守る会東北ブロック大会・研修会岩手大会を花巻市新鉛温泉 結びの宿「愛隣館」で開催いたします。

【大会の目的】 「最も弱いものをひとりももれなく守る」のもとに、
私たち親がいかなる時つながり声を出し続けよう。

【テーマ】 ～ 想いを声に ～

として、6年前に岩手県大会が開催されてから、重症心身障がい児者を取り巻く課題、取り組み等が大きく変化しており、現状を踏まえた諸課題等の解消について、守る会の三原則を今一度再確認し、今後の活動方針を東北及び全国に向けて発信するものです。大会の成功に向け、支部会員各位のご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

令和5年度スローガン(案)

1. 県や市町村の障がい者福祉施策に重症心身障害児者への配慮を!
2. 災害時に重症児者が守られる福祉避難所の設置を!
3. (独)国立病院機構及び民間重症児施設入所児者の療育内容の充実を!
4. 在宅重症児者の地域での生活支援体制の充実を!
(1)各地域でのショートステイ、デイサービス等の拡充を!
(2)通学・通院についての支援の充実を!
(3)卒業後の日中活動の充実を!
5. 医療的ケア児支援センターの支援体制の充実を!
6. 重症心身障がい児者の特性に配慮し、それぞれの可能性を引き出す教育を!
・充実した人生を送るために生涯教育の危機を!

第3号 ②

(1) 令和5年度事業計画

事業名	実施日	内容
全国大会	9月9日～10日	全国重症心身障害児(者)を守る会 広島大会
東北ブロック大会・研修会	9月29日～30日	第24回東北ブロック大会・研修会 会場:岩手県

諸会議		○定期総会 5月7日 ○理事会、三役会議、東北ブロック大会に向けた役員会、その他必要に応じた会議を開催し、目的達成のための事業執行、組織強化に努める。 ○専門部会議 国立施設部会、重症児施設部会、在宅部会 母親部会、医療的ケア部会 オンラインを活用し、活性化を図る
会員相互交流会		○ホームページは、随時必要事項を掲載し、更新する ○遠隔地や普段参加できない方々との交流を深める。 (オンラインを活用する)
会報発行事業 〔福祉基金助成 対象事業〕	年3回	会報「愛の手」を、会員・関係機関に配布し、情報の共有に努める。各部の様子、愛の手リレーなどを掲載する。 6月 9月 12月
行政への要望	随時	重症児者及び超重症児の医療・福祉・教育施策充実のための要望や懇談を行う。
本部との連携	随時	全国守る会(本部)支部としての活動を充実させる。
その他	随時	県市町村の自立支援協議会等へ参加する。 関係団体の活動に参加、協力する。 特に、「岩手県の療育を考える会」「いわてチルドレンズヘルスケア連絡協議会」「医療的ケア児支援センター」との連携を強化していく。

第3号③ 令和5年度 各部会 活動計画

(2)【国立施設部会】活動計画

- ワクチンの優先接種や入所施設における面会の工夫
- 迅速な情報提供と新たな問題や疑問に適切に活動する
＜活動内容＞
(1)組織体制の強化を図るため、未加入の施設の保護者会への働きかけ他、未加入の保護者の相談に応じ、共に活動するなど、会員数の拡大に向けて推進する。
(2)障害福祉サービスの実施主体が市区町村に移行され、短期入所や通所施設などの在宅サービスが十分にされていない在宅重症心身障害児者と家族への支援に努める。
(3)近年、特別支援学校において、人工呼吸器の管理等の特定行為以外の医療的ケアを必要とする児童生徒も増加している。医療的ケアが必要な児童生徒が安全安心の通学ができるように運動する。

(3)【重症児施設部会】活動計画

予定	名称	内容	場所
6月	東北ブロック重症児施設部会	各重症児施設の現状報告	仙台市

(4)【在宅部会】活動計画

- ・コロナ禍で提出できていなかった岩手県・盛岡市・各市町村にはできるだけ要望書を提出していきます。
- ・今年度は、感染対策やリモートも使い、できる範囲の対面で活動を停滞させることなく、在宅会員皆さんの若いパワーをもらいながら進めていきたいと思います。
- ・在宅会員で入所へ移行する方が多くなり、会員年齢層が変化してきてると共に、活動内容等にも変化が見られます。今年度の動向を見ながら、引き続き在宅部のありかたを各圏域分会と共に探っていきたいと思います。

(5)【母親部会】活動計画

在宅部会と協力して茶話会等実施します。

(6)【医療的ケア部会】活動計画

- ・会長、在宅部会のみなさんと盛岡圏域の担当課や支援学校へあいさつ回りを実施します。
- ・定例会の回数を増やしたいです。
- ・災害対策、マイタイムラインの記入の仕方の勉強会を行いたいです。(実施予定月未定)

(7)【各圏域分会】活動計画

①盛岡圏域分会「のあ」

月	日	名称	内容	場所
6		定例会	今後の活動について	ふれあいランド岩手

5年度の活動は、コロナの感染状況を見ながら行いたいです。

- ② 県北圏域分会「カシオペア」 茶話会実施予定。
- ③ 沿岸圏域分会「ウエルカム」 月2回 活動（音楽療法、理学療法士さんによる体の動きの活動等）
茶話会実施予定。
- ④ 県南圏域分会 コロナの感染状況を見ながら行いたいです。

第4号 令和5年度 一般会計収支予算

収入

項目	本年度予算額	前年度決算額	増減	摘要
会費	2,844,000	2,849,000	-5,000	240名×12000円 免除3名
賛助会費	120,000	127,000	-7,000	
寄付金	200,000	414,630	-214,630	保護者会、本部、個人他
助成金	200,000	200,000	0	岩手福祉基金
参加費	0	0	0	
戻入金	0	-12,000	12,000	
雑収入	12	11	1	預金利息
繰越金	650,635	772,299	-121,664	
合計	4,014,647	4,350,940	-336,293	

支出

項目	本年度予算額	前年度決算額	増減	摘要
本部会費	1,990,800	1,932,000	58,800	240名×8400円 免除3名
事務費	650,000	650,181	-181	事務用品、リーフレット、事務局手当他
通信費	140,000	140,580	-580	電話、NTT、ヤマト運輸他
ホームページ関係	110,000	100,100	9,900	年間使用料等
旅費・会議費	300,000	287,000	13,000	三役会、理事会等
Web会議・回線使用関係	30,000	28,000	2,000	Web会議参加費/回線使用料2000×回数
地域福祉活動事業	20,000	0	20,000	茶話会
会報発行事業	300,000	270,799	29,201	470部×3回
地区活動費	40,000	40,000	0	盛岡、県北、沿岸、県南
部会活動費	60,000	60,000	0	母親、在宅、医ケア部会
入居料	130,000	138,193	-8,193	ふれあいランド入居費、光熱費、機器使用料
負担金	155,000	3610	151,390	東北ブロック負担金・会費・療育を考える会
予備費	88,847	49,842	39,005	
合計	4,014,647	3,700,305	314,342	

令和5年度 特別会計収支予算

項目	本年度予算額	前年度決算額	増減	摘要
収入繰越金	379,871	379,869	0	
収入利息	2	2	0	
支出繰り出し	0	0	0	
合計	379,873	379,871	2	

第5号 令和5年度 岩手県支部「守る会」役員

	役職名	氏名	施設・在宅
1	会長	齊藤 勉	釜石病院
2	副会長	鈴木 正志	岩手病院
3	副会長	遠藤 和彦	みちのく
4	副会長	藤村 ゆみ子	在宅
5	副会長	佐々木 重子	盛岡医療センター
1	理事(東北ブロック副会長)	齊藤 勉	釜石病院
2	理事	久保 儀真	釜石病院
3	理事	工藤 久江	釜石病院
4	理事(国立施設部副会長)	鈴木 正志	岩手病院
5	理事	田鎖 利耕	岩手病院
6	理事	小山 修	岩手病院
7	理事(重症児施設部会長)	遠藤 和彦	みちのく
8	理事	和泉 勝彦	みちのく
9	理事	後藤 二三夫	みちのく
10	理事	浅沼 久美子	花巻病院
11	理事	鎌田 哲子	花巻病院
12	理事(母親部会長)	佐々木 重子	盛岡医療センター
13	理事(在宅部会長)	藤村 ゆみ子	在宅
14	理事(医療的ケア部会長)	澤口 るり子	在宅
15	理事(盛岡圏域分会のあ)	齋藤 名月	在宅
16	理事(県北カシオペア分会)	百鳥 陽子	在宅
17	理事(沿岸圏域ウエルカム)	大関 香織	在宅
17	理事(県南圏域)	伊藤 恵美	岩手病院
18	理事(本部監事)	田村 輝雄	在宅
19	理事(事務局長)	小松原 弘子	賛助会員
	監事	星野 幸恵	在宅
	監事	笹川 純子	在宅

*次期役員改選 令和6年度

第6号 岩手県重症心身障害児(者)を守る会規約

(目的)

第1条 本会は、岩手県下の重症心身障害児(者)及びその周辺児を抱える父母とそれに代わる者が協力し、助け合い、そのすべての問題を社会に訴え、その救済と擁護に万全を期するための対策を進めると共に、その指導を行うことを目的とする。

(名称)

第2条 本会は「岩手県重症心身障害児(者)を守る会」という。

本会は「全国重症心身障害児(者)を守る会(以下「本部」という)」の支部とする。

(事務所の所在地)

第3条 本会の事務所は、「岩手県盛岡市三本柳8-1-3 ふれあいランド岩手内」に置く。

(事業)

第4条 本会は、第1条の目的を達成するために次の事業を行う。

- 1 県下の重症心身障害児(者)の福祉対策促進に関すること。
- 2 本部と連携を密にし、その志向する運動の実践に関すること。
- 3 他団体や諸関係機関との連絡提携に関すること。
- 4 その他本会の目的に関すること。

(組織)

第5条 本会は第4条の目的を円滑に運営するため、次の部会を設ける。

- 1 各部会には部会長及び部員を置き、部会長は理事の中から選出する。
 - ① 在宅部会
 - ② 国立施設部会

- ③ 重症児施設部会
- ④ 母親部会
- ⑤ 医療的ケア部会

2 本会目的を促進するため、理事会の承認を受け地域分会を設けることができる。

(会員)

第6条 本会の会員は、正会員及び賛助会員をもって構成する。

- 1 正会員は、重症心身障害児(者)の親族及びそれに代わる者をいう。
- 2 賛助会費は、本会の目的に賛同して協力してくれる法人、団体又は上記1に該当しない個人とする。賛助会員は議決権を有しないものとする。

(会費)

第7条 会費は次の通りとし、前納するものとする。既納の会費は理由の如何に問わず返還しないものとする。

- 1 正会員の会費は、年額12,000円(月額1,000円)
 - ① 年度途中に加入した場合の会費は、加入月から年度末までの月割り計算とする
 - ② 会費には会報や会誌の購読料が含まれる。但し、事情により理事会の議決をもって会費の減免、又は臨時会費の徴収を行うことができる
- 2 賛助会員の会費は、年額一口2,000円とする。但し、口数は制限しない。
- 3 会費未納が5年間続いた場合、退会の意思を確認し、退会の手続きを取る。

(役員)

第8条

1 本会に次の役員をおく。

- | | |
|------|-----|
| 会長 | 1名 |
| 副会長 | 4名 |
| 理事 | 若干名 |
| 事務局長 | 1名 |
| 会計監事 | 2名 |

2 役員は、総会において会員の中から選出する。

3 会長、副会長、の二役は、必ず正会員でなければならない。

4 会長、副会長は、選考委員会で選出し、総会で決定する。

5 賛助会員を役員に選出する場合、役員総数の3分の1以内とする。

6 役員の任期は2年とし、再任を妨げない。但し、やむを得ない事情により任期途中において交替する場合は残任期間とする。

(役員の仕事)

第9条

1 会長は本会を代表し、会務を総括する。

2 副会長は会長を補佐し、会長事故ある時は職務を代行する。

3 理事は、会務を評議し執行する。

4 事務局長は、庶務・会計及びその他の会務を執行する。

5 会計監事は、会計を監査し総会に報告する。

(顧問等)

第10条 本会に、顧問、相談役をおくことができる。

(会議)

第11条

1 会議は構成員の過半数で成立し、議決は多数決で行う。但し、欠席の場合は、出席者に委任することができる。

2 総会は年1回会長が召集し、臨時総会は理事会の議決により開催することができる。

3 理事会は、会長、副会長、理事、事務局長で構成し、必要に応じて会長が召集する。

(会計)

第12条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

本会の運営は、会費、事業収入、寄付金、その他をもってこれに当てる。

(慶弔)

第13条 会員(正会員)に対し特に金品を出費する必要がある時、又は本会の目的遂行のため、会長が必要と認めるときは、理事会の審議を経る。

(返礼の禁止)

第14条 会員は本会からの贈呈に対しては、一切の返礼を行わないものとする。

(規約の変更)

第15条 この規約の変更は、総会の議決を持って行い、本部に届け出るものとする。

附 則 本規約は、平成13年4月1日より発効する

本規約は、平成14年4月1日より一部改正し発効する

本規約は、平成18年4月1日より一部改正し発効する

本規約は、平成25年5月19日より一部改正し発効する

本規約は、平成29年5月14日より一部改正し発効する

本規約は、令和4年4月1日より一部改正し発効する

本規約は、令和5年4月1日より一部改正し発効する

施設ごと正会員状況

<会員の所属>

	所属	人数
入所	岩手病院	82
	釜石病院	52
	盛岡医療センター	20
	花巻病院	22
	みちのく療育園 メディカルセンター	32
在宅		20
計		240

<児者の年代構成>

年齢	人数
10歳未満(H23以降)	5
10～19歳(H13～H22)	9
20～29歳(H3～H12)	30
30～39歳(S57～H2)	44
40～49歳(S47～S56)	61
50～59歳(S37～S46)	49
60～69歳(S36～S27)	34
70歳以上(S26前)	9
死亡	0
計	241

*1組兄弟の児・者は、241名

令和5年4.1現在

<会員居住地>

圏域	市町村	在宅	入所	総数	
盛岡	盛岡市	15	45	60	
	滝沢市	1	3	4	
	雫石町	2	2	4	
	八幡平市	0	2	2	
	岩手町	0	3	3	
	矢巾町	2	1	3	
	紫波町	2	5	7	
	県南	花巻市	1	8	9
		北上市	0	14	14
		遠野市	0	8	8
一関市		1	24	25	
奥州市		2	25	27	
西和賀町		0	1	1	
金ヶ崎町		1	2	3	
平泉町		0	1	1	
宮古市		0	7	7	
岩泉町		0	3	3	
県北	大船渡市	2	5	7	
	釜石市	2	8	10	
	陸前高田市	0	0	0	
	大槌町	0	4	4	
	山田町	0	4	4	
	田野畑村	0	1	1	
	住田町	0	2	2	
	二戸市	0	0	0	
	久慈市	0	1	1	
	葛巻町	0	1	1	
県外	軽米町	1	0	1	
	東北	0	23	23	
	東北以外	0	5	5	
計		32	208	240	

令和5年度「守る会」総会報告

岩手県重症心身障害児(者)を守る会総会



日時：令和5年5月7日（日）
 場所：ふれあいランド岩手「ふれあいホール」
 出席者：会場30名、Web2名 委任状137名 計169名 （過半数以上で総会成立）

4年ぶりに対面での総会が開催されました。ご多忙にもかかわらず、多くのご来賓の方々の出席も頂きました。

鈴木理事の開会宣言、佐々木理事の三原則の唱和に続き、物故者への黙祷をしました。
 （守る会の母であった故北浦雅子会長様へのご冥福も込めて黙祷させていただきました）

会長挨拶では、「・・・（略）過去3年間コロナ禍で思うような活動ができなかったが、今後は、地域の実情や要望を踏まえた支援の充実に努めたいこと・・・また、本年度は第24回重症心身障害児者を守る東北ブロック大会・研修会岩手大会が9月29日30日の2日間、花巻市の結びの宿『愛隣館』にて開催されること。テーマは「想いを声に」、最も弱いものをもれなく守るのもとに、私たちがいかなる時も、繋がり、声を出すことを目的として開催すること等。関係各位の多数のご参加を・・・」と述べられました。

<ご来賓挨拶>

【日向 秀樹様】（岩手県保健福祉部障がい保健福祉課 障がい福祉課 総括課長）

日向様のご挨拶では「（略）県では岩手県障害者プランにおいて、身近な地域における重症心身障害児者及び医療的ケア児者の支援の充実や連携体制の構築を掲げ関係者のご理解とご協力をいただきながら取り組んでいる・・・

また、岩手県重症心身障害児者支援推進会議を設置し、保健保育教育などの関係者と連携して学校や保育所での受け入れ体制の整備など、ご家族の看護介護負担の軽減や重症心身障害児者の支援体制の構築に取り組んでいる・・・令和3年度に施行された「医療的ケア児支援法」により県では、市町村と適切な役割分担のもと「社会福祉法人新生会のみちのく療育園メディカルセンター」など関係機関の多大なるご協力をいただき、昨年9月に「岩手県医療的ケア児支援センター」を設置し、相談支援や市町村と支援に努めているほか、地域コーディネーターや看護師など医療的ケア児に関わる人材の養成、短期入所などのレスパイトの充実に向けた機器整備等の補助、医療的ケア児の保護者向けの支援を盛り込んだ・・・また、「岩手医療支援ガイドブック」の作成などに取り組んできた・・・

また、障害者のサービスの充実には制度の拡充が極めて重要なので、国に対して報酬引き上げや施設整備補助にかかる予算の充実など継続的に要望してきた・・・今後も関係機関、関係団体等と連携しながら取り組んでいきたい（略）」と述べられました。



【 最上 一郎 様 】 (岩手県教育委員会事務局学校教育課 特別支援教育課長)



最上様の挨拶では「(略) 県教育委員会は、令和元年度に岩手特別支援教育プランを策定し、「つなぐ・生かす・支える」の3つのキーワードごとの施策の方向性と具体的施策を示しながら、すべての人がお互いを尊重し、心豊かに主体的に生活することができる共生社会、これまでさまざまな施策を展開してきた。

その中には、これまでに引き続き医療的ケア看護職員を配置する取り組みもある。

今年度は特別支援学校 9 校、51 名の生徒に対し、実質 55 名の看護職員を配置し学校へ通学することができる環境整備に努めている。また、今年度から新たに分教室においても医療的ケアを実施できる体制を整え多様な学びの場における医療的ケア実施を進めている。

今後は、その他の取り組みも含め関係機関の連携のもと子供一人一人の教育的ニーズに答えながら広く県民の皆さんとの連携、協働によるともに学び、ともに育つ教育のさらなる推進を図っていききたい(略)と述べられました。

【 谷川 幸子 様 (全国重症心身障害児(者)を守る会東北ブロック ブロック長)



谷川様の挨拶では、「(略) 令和 5 年 2 月 16 日、わたくしたちの活動の母体である全国重症心身障害児者を守る会 北浦雅子会長がご逝去された。全国重症心身障害児者を守る会結成当時から、長年にわたり、全国の重症心身障害児者の母として、私たち会員一人一人の精神的支柱であった。会結成にあたり私たちの子供は、親だけではなく専門の先生方をはじめとする多くの方々の協力がなければ命を守ることはできない、ということから会の名称を「親の会」ではなく「守る会」としたこと。

そして児(者)としたのは 18 歳以上の存在も忘れないでほしい、という願いが込められていることを再度振り返りたい。そして「最も弱いものを 1 人ももれなく守る」をはじめとする会の 3 原則、および親の憲章を作り活動の道しるべを残してくれた。

私達は、北浦会長が残された大きな理念を絶やさぬように、今一度胸に刻みながら活動を進めていかなければならない。5 月 8 日より新型コロナウイルス感染症が感染症法上 5 類感染症に位置付けられる。およそ 3 年にもわたり、親も子も初めての経験に戸惑いながら何とか乗り切ってきた。そして、いつもと変わらぬ日常を過ごすことができたのは、本日ここにご臨席されている医療福祉教育関係の方々をはじめとする多くの皆様に支えられている、ということがこの感染症の発生で私たち親は再度教えられた。この場をお借りして感謝申しあげたい。そして、ここ岩手県支部は東北ブロックの中でも宮城県支部と並んで歴史が古く、活動も大変活発に行われている。行政への働きかけと会報「愛の手」を拝読してもその様子が見て取れる。また今年度はコロナ禍により数年間開催できなかった東北ブロックの開催県として大変忙しいと思う。Web での参加と新しい試みもされるので東北ブロック一丸となってこの大会を爽りあるものにと思っている。結びに岩手県支部のますますのご活躍を祈り申し上げたい。(略)と述べられました。

＜ご出席の来賓の方々＞

- 畑山 紀枝 様 盛岡市保健福祉部障がい福祉課 障がい福祉課長
- 木村 啓二 様 (独)国立病院機構 盛岡医療センター 院長
- 豎山 真規 様 (独)国立病院機構 岩手病院 院長
- 山崎 宣之 様 (独)国立病院機構 釜石病院 療育指導室長
- 熊谷 拓也 様 岩手県立療育センター 事務局長
- 小山 耕太郎様 みちのく療育園メディカルセンター 施設長
- 伊東 宗行 様 みちのく療育園メディカルセンター名誉園長
- 米沢 俊一 様 こどもは未来 もりおかこどもクリニック 院長
- 臼澤 勉 様 岩手県議会議員
- 田村 輝雄 様 全国重症心身障害児(者)を守る会 監事
- 『祝電』横沢孝則 様 参議院議員

＜議 事＞

- 第 1 号議案 令和 4 年度事業並びに活動報告について
 - 第 2 号議案 収支決算報告、監査報告について(差替え資料にて)
 - 第 3 号議案 令和年 5 度事業活動方針(案)事業計画(案)
 - 第 4 号議案 収支予算(案)(差替え資料にて)
- 全て承認されました。

＝医療的ケア関係の取組についての報告＝

【日向 秀樹様より】

- ・2022 年 9 月にセンター設置(みちのく療育園メディカルセンター内に)
- ・相談 100 件くらい。
- ・自立支援協議会が各地域に増えていくよう支援をしていきたい。
- ・研修会を引き続き開催したい。
- ・レスパイトが受けられる施設を増やしたい。
- ・皆さんが声を出す、市町村を含めてバックアップしていきたい。

【小山 耕太郎様より】

＝医ケアセンターの半年間の報告＝

- ・相談 100 数十件
- ・相談の多くは、支援を担当している方。
- ・医ケア児の受入れは、地域により差がある地域の差を埋めていきたい。
- ・171 名が研修を終えているが、その方々の背景は、医療よりむしろ福祉。医療機関、県立病院などの主治医を中心とした研修が必要なのではないか。
- ・災害時の個別避難計画を進めるべきではないか。
- ・今年度は、家族のコミュニケーションを図る取り組み「茶話会」をはじめしていく予定。

- 第 5 号議案 役員(案)
- 第 6 号議案 規約改正について(案)
 - 第 7 条 3 ～退会の「有無」を確認し～ ～「意思」～ 訂正
- 第 7 号議案 その他(案)

【意見 平 田美子さんより】

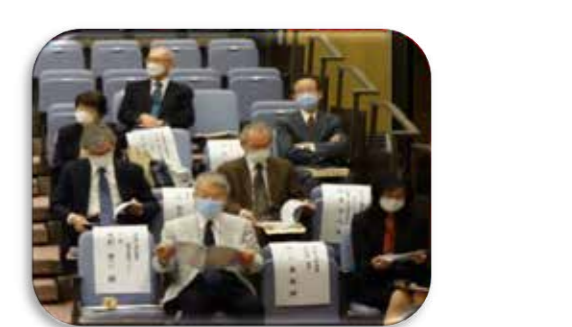
「母親部会」の名称について

違和感がある。関わっているのは、母親だけではない。父親も、最近では、高齢化に伴い、兄弟姉妹や後見人も関わっていることが多くなってきた。「母親部会」ではなく、例えば「保護者部会」などという方がふさわしいのではないか。検討してほしい。

【回答 母親部会長 佐々木 重子さんより】

検討して考えていきたい。

全て承認されました。



～会員・来賓の皆さまより一言～

【会員 千葉 淑子様より】

- Zoom 開催に感謝。
- 医ケアセンター設置に感謝。様々なイベントを組んで下さったり、相談にもって下さり、安心して過ごせると思う。
- ただし、地域差があり、暮らにくさを感じている医ケア児の家族がいる。
- 一関の「ぼけっとの会」の会員さんで、お子さんを亡くした伊藤さんという方が「そらのたね」という事業所を立ち上げた。重い子から受けようという気持ちでスタートする。このようなところを潰さないよう、県のほうでも考えてほしい。他県では、都道府県として、加算のようなものをつけているところがある。岩手県でもどのような運営をしているのかという観点でみてほしい。

【豎山 真規 様】

(独)国立病院機構 岩手病院 院長

当院では、あすなろ病棟 50 床、3 つの病棟を有している。150 人の患者さんをお預かりしている。ショートステイに関しては、以前より日帰りでの受け入れを積極的に行っている。ショートとなると、部屋を作るところにひとつ課題がある。今後、工夫しながらと考えている。

面会は、短時間で今はさせていただいている。5 月 8 日から新型コロナの感染症が 5 類になって、岩手県では全ての医療機関でコロナの患者さんを診るという体制になる。当院でも準備しているが、このことは逆に入院してる患者さんにとっては感染のリスクがある。5 月 8 日以降どうなるのか心配もしている。とはいえコロナ当初に比べれば、ウイルスとの付き合い方もだんだんわかってきた。不十分だが治療薬も出てきた。色々対応もわかってきている。

先日、患者さんの親の会に参加させていただいた。やはり面会については、とても切実なご要望をいただいた。いろいろ一層工夫して良い方向を模索したい。

【木村 啓二 様】

(独)国立病院機構 盛岡医療センター 院長

盛岡医療センターでは、ずっと短期入所を受け入れているが、逆に病院に入ることによってうつされるんじゃないかと心配されて、利用者は多くないのが現状。月に 3 人くらい。2 泊 3 日くらいの方が 2～3 人という状況。まだ空きがあるので、ご利用下さい。面会に関しては、4 月 18 日から平日だけ 10 分、短時間だが再開した。先日親の会に参加したら触らせてほしいというご要望があって即翌日から。やっぱり抱きしめるところはどうかと思っていて、指消毒をしてお子様コミュニケーションをとってもらおうということも始めた。だんだん平日だけではなく、休日も考えている。



【熊谷 拓也 様】

岩手県立療育センター事務局長

コロナもあり、ショートステイを受け入れてこなかった。昨年度、コロナも落ち着いてきたところで困っていらっしゃるお子さんご家族を数件お受けした。

5 月 8 日から緩和されるので、看護部を中心にできるだけ緩和しようと受け入れ体制をまた練り直している。感染力が強いので、一回にという話にはならないが、段階的にショートステイを受け入れていこうと思っている。

医療的ケア児支援センター小山先生や日向総括課長さんが陣頭指揮のリーダーということで、私どもも末席に加わらせていただいている。県立施設ではあるが、指定管理施設という委託的な部分もあるので、率直にすぐ動けない事実がある。

皆様にご迷惑をおかけしている。明日から緩和されるので、段階的にと考えている。ご理解ご協力をお願いしたい。

【山崎 宣之 様】

(独)国立病院機構 釜石病院療育指導室長

うちの病院は、短期入所はなるべく早くということと今、調整をさせていただいている。去年の 12 月の暮れから 1 月にかけて、1 つの病棟の 39 名中 37 名の方がコロナの陽性にかかるという大クラスターが発生した。それ以降、重症化される方はいらっしやなかった。対面面会を 2 月からすぐスタートさせた。今は、原則平日。どうしてもご家族の方の都合がつかない方に関しては、土日でも病棟で窓越しとかいろいろ工夫させていただきながら、対面面会を進めたところ。病棟がすごく古いので、クラスターが起きてから、短期入所ユニットで使っていたお部屋を、今、職員の方の感染対策の控室に使っている。まだまだ病棟の中で短期入所再開とまではいけない。院長先生とも 5 月 8 日から感染症類も下がるので、検討している最中。うちの病院では、登録の方が 5 名しかいない。昨年 1 名だけしかお引き受けできなかった。徐々に再開したい。

【畑山 紀枝 様】

盛岡市保健福祉部障がい福祉課 障がい福祉課長

当課で取り組んでいくべきことは、重症心身障害児さんと医療的ケア児さんということで、今年度、個別避難計画とか日程を合わせて、打ち合わせをし、進めていきたい。

短期入所も今までコロナの中で難しかったこともあるが、5 類になるということで、私たち自治体もお手伝いしながら、ご在宅の方の生活を難しくないように取り組んでいきたい。



最後に、鈴木理事の閉会宣言で、総会を閉じました。

＜総会アンケート結果＞（総会資料、総会の詳細は、ホームページに掲載しますので、ご覧ください。）

1. 開催時期 5 月第 2 週 日曜日 午前中 (24 名)
2. 場 所 ふれあいランド (24 名)
3. 参加形態 直接参加+ハイブリット (24 名)
4. その他

- 会場参加とオンライン参加の一体感が今一つ感じられなかった。多くの来賓の方もいるので総会の進め方を考えてみた方がいい。
- 初めての参加だったが、直接参加者が少ないと感じた。来賓の方も多かった。一人の意見ではなく、会としての要望等の意見ももう少しあっても良かったかも。
- オンライン出席も可能なので、今後多くの方の参加を期待したい。
- 司会者の声は聞こえたが、それ以外は、ほとんど聞き取れなかった。
- オンラインには賛成。次回までに改善してほしい。
- 役員の方々、いつもご苦労様です。
- ハイブリッドに感謝。事前の音声テストでは聞こえたが、言葉がほとんど聞き取れなかった。
- 意見を言わせてもらい感謝。来賓の方々のお話が聞きたかった。
- 各地で行う茶話会は、会員やそうでない方の思いを吸い上げて活動に活かせるのでいいと思う。
- 毎年、会長や役員の方々が、意見を取りまとめて県に要望しているのがとてもいいと思う。
- 総会資料が、良かったです。

率直なご意見、ありがとうございました。Web に関しては、私どもの力不足です。プロの方を頼むには、かなりの費用がかかりますので、勉強し改善したいと思っております。どなたか力を貸してくれませんか。お手伝い大歓迎です！！
参加者については、会員の高齢化等が進み、なかなか増えない状態が続いています。Web も使える方が少ないのが現状です。良いアイデアがあれば、事務局までお知らせ下さい。（小松原）

第24回 重症心身障害児（者）を守る東北ブロック大会・研修会
岩手大会・研修会 開催要綱

- 1 目的 「最も弱いものをひとりももれなく守る」のもとに
私たち親がいかなる時もつながり声を出し続けよう
- 2 テーマ 『想いを声に！！』
- 3 期日 令和5年9月29日（金）13:00～30日（土）12:00
- 4 会場 花巻市 新鉛温泉 結びの宿 愛隣館
〒025-0252 岩手県花巻市鉛字西鉛23
TEL 0198-25-2619 FAX 0198-25-2938
- 5 参加者 東北ブロックの重症心身障害児（者）を守る会会員、施設及び病院
関係者、学校関係者、行政関係者他
- 6 主催 全国重症心身障害児（者）を守る会 東北ブロック
岩手県重症心身障害児（者）を守る会
- 7 後援 岩手県、花巻市、岩手県教育委員会、花巻市教育委員会、
岩手県社会福祉協議会、花巻市社会福祉協議会 岩手県の療育を考える会
独立行政法人国立病院機構北海道東北グループ
岩手日報社、NHK 盛岡放送局、IBC 岩手放送、めんこいテレビ
(株)岩手朝日テレビ、(株)テレビ岩手
- 8 大会日程

9月29日（金）	9月30日（土）
13:00～14:15 開会式典（WEB 配信）	9:00～10:55 分科会（WEB 配信）
14:30～15:30 基調講演（WEB 配信）	11:10～11:40 分科会感想（WEB 配信）
15:40～17:00 中央情勢報告（WEB 配信）	11:45～11:50 大会総括（WEB 配信）
17:00～ 移動・チェックイン	11:55～12:00 閉会式
19:00～ 懇親会	

（分科会の話題第1分科会第2分科会共に）
- 9 費用 参加費 5,000円（障害児者 本人は無料）
宿泊費 大人 17,000円
日帰り（懇親会込み）大人 12,000円
WEB(ZOOM)参加費 1人3,000円（グループでの参加必須）
- 10 連絡先 岩手県重症心身障害児（者）を守る会事務局
〒020-0831 盛岡市三本柳8-1-3ふれあいランド岩手内
TEL・FAX 019-601-2255
E-mail mamoru2255@gmail.com

【申込方法】

- 施設・・・施設ごとにまとめて行います。
- 在宅・・・事務局、小松原が取りまとめます。申込書は、在宅部の方にのみ個々に会報と共に送ります。メール（mamoru2255@gmail.com）かFAX(019-601-2255)で、お願いします。
- 締切7月31日必着

【 つながろう東北！！ ラインとWebでつながったヨ！！ 😊 】

<つながろう東北！！> 東北ブロック大会、9月に向かって始動！！



第24回 東北ブロック岩手大会では、思い切って、ハイブリットも取り入れて、実施することにしました。コロナ禍で始めたWeb会議。どこの県でも試行錯誤でスタートしてきたと思います。

大会を前に、練習をしようということになり、5月18日に、Web練習をしました。主たる参加者は、各県の在宅部会長、母親部会長、その他の皆様に声をかけ、ライングループができました。

携帯で参加する方、パソコンで参加する方、参加者全員が無事にZoomに入ることができました。青森、宮城、山形、福島、岩手の5県から15名の参加がありました。自己紹介をしたり、現在の課題を話し合ったりしました。

秋元宮城会長には、はじめと終わりにご挨拶を頂きました。守る会の高齢化問題や若い方とのつながり方の工夫等、福島の富岡事務局長からは、てんかんの外科治療としての「迷走神経刺激療法（VNS）」についてお話がありました。これをつけている方への医療職以外の方がマグネット使用をしている事例があれば、教えてほしいとのことでした。

私自身恥ずかしながら、初めて聞く治療法でしたので、繋がりをもてたからこそ、知ることができた情報だと思い、改めて繋がって学ぶことの大切さを感じました。

本番の東北ブロック大会では、Web関係はプロの方にお任せしますので、心強いのですが、自分たちだけでも皆様と繋がることができることが分かり、今後ともWebを活用して、皆さんと繋がれたらもっと、東北が盛り上がるのではと思います、ブロック大会の成功を感じました。

次回開催するときには、是非、秋田の方ともつながりたいです。

もちろん、Face to Faceが基本ですが。

皆様、是非、秋の岩手を感じにいらして下さい。お待ちしております！！

（事務局 小松原）

(2)【 国立施設部会 】活動報告

「東北ブロック国立施設部会総会」 書面議決

① 岩手病院 活動報告

コロナ禍のため活動中止

② 釜石病院 活動報告

コロナ禍のため活動中止

③ 花巻病院

コロナ禍のため活動中止

(3)【重症児施設部会】活動報告

「東北ブロック重症児施設部会」 コロナ禍のため活動中止

① みちのく療育園メディカルセンター 活動報告

月	日	名 称	内 容	場 所
5	14	保護者の会	理事会	矢巾町「やはばーく」
6	25	保護者の会	園内整備	みちのく療育園
9	17	保護者の会	園内整備	みちのく療育園
11	5	みちのく療育園メディカルセンター	20周年式典	矢巾町田園ホール

(4)【母親部会】活動報告

「県央広域圏交流茶話会」を2年ぶりに令和4年11月24日、在宅部会と共に実施した。

子どもの将来のこと、現在の生活のこと、緊急時の避難のこと等について活発な意見交換がなされた。

(5)【在宅部会】活動報告

月	日	名 称	内 容	場 所
8	18	東北ブロック大会会議	東北ブロック大会について	ふれあいランド
	28	紫波矢巾圏域医療的ケア児WG	今年度の活動について	矢巾公民館
9	4	重症心身障がい支援者育成研修会・講師2名(藤村・澤口)	守る会について・重心身障がい児・者の親として地域に生きる思いや願い	高校会館
	31	紫波矢巾圏域医療的ケア児WG	医療的ケア児アンケートについて	紫波町役場
9	5	社会福祉事業団第1回運営協議会	令和3年度事業報告・4年度事業計画	web
10	14	岩手医大看護科助産学専攻科講座	重心医療的ケア児等家族支援の3つの柱	岩手医科大学
	15	矢巾町総合防災訓練参加	要配慮者の防災訓練参加	矢巾町体育館
11	20	岩手県医療的ケア児センター懇談	医療的ケア児センターについて	みちのく療育園 MS
	1	紫波矢巾圏域医療的ケア児WG	医療的ケア児アンケートについて	矢巾公民館
11	3	小児神経学会「医療的ケア」研修セミナー	今まで、これからの息子二人の自立への子育て	アイーナ
	5	みちのく療育園25周年記念式典	記念式典	矢巾町田園ホール
12	12	全国守る会在宅専門部会	今年度のアンケート活動報告など	web
14	14	医ケアコーディネーター研修(藤村・澤口)	家族支援・本人、家族の思いの理解	web高校会館
18	18	東北ブロック大会会議	愛隣館下見	愛隣館
24	24	県央広域圏茶話会	家族5名・花巻、北上行政・相談支援員	飯豊地区交流センター
12	22	県障害福祉課懇談	県委託事業療育キャンプについて	ふれあいランド
	1	31	医療的ケア児センター避難計画研修	矢巾町総合防災訓練に参加して
2	2	紫波矢巾圏域医療的ケア児WG	医療的ケア児アンケートについて	紫波町役場
	4	盛岡圏域茶話会	家族6名・県、盛岡コーディネーター他	ふれあいランド

3	22	岩手県医療的ケア児センター懇談	医療的ケア児センターの動向他	みちのく療育園 MS
---	----	-----------------	----------------	------------

【令和4年度活動のまとめ】

・今年度は、4年ぶりに県央広域圏(花巻・北上)茶話会、盛岡圏域茶話会を開催することができました。皆さんの現在の生活の様子や今後の生活や進路の不安、緊急時の個別避難計画等様々な話題が出されました。「今までコロナ禍で外に出るのを躊躇していたけどやはり対面で話すの違いですね」との声が聞かれ、これを機会に少しずつ動き出したいと話されており、茶話会の重要性を感じました。引き続き年2回、開催していきたいと思っております(5年度は、県北、沿岸予定)

・盛岡となん支援学校が矢巾町に移転後、「通学距離が長くなった」「医療的ケアの児童が増えてきている」ことにより、盛岡圏域で支援学校に通学する保護者の方の送迎困難の問題が大きくなってきています。そのため、現状はどうなのか、令和2年2月からアンケートを行いまとめ、県や市、教育委員会へと解決策を要望と共に、訴えていく予定でしたが、コロナ禍でなかなか活動ができず、現在要望書と共に再検討し、5年度初めには県や市町村へ提出予定です。

(6)【医療的ケア児部会】活動報告

月	日	名 称	内 容
7	8	岩手県立大学看護学部4年	小児ゼミ
8	4	重症心身障がい支援者養成研修	講師
11	14	医療的ケア児コーディネーター養成研修	講師
8	3	盛岡広域医療的ケア連絡協議会(11/29)	参加
7	8	盛岡市との協議(8/17,11/7,2/6)	災害時個別避難計画作成 協議継続中
10	11	雫石町地域福祉課との協議	災害時個別避難計画の件で協議
10	20	岩手県医療的ケア児支援センターとの懇談会	(3/22)
1	31	岩手県医療的ケア児支援センター主催(3/23)	災害時支援のための勉強会参加

(7)【各分会活動報告】**① 盛岡圏域分会「のあ」**

月	日	名 称	内 容	場 所
12	26	盛岡市自立支援会議	地域生活支援拠点事業	プラザおでって
2	4	盛岡広域圏茶話会	医療的ケア児者の在宅や学校生活の現状についての話し合い	ふれあいランド岩手
3	13	来年度の活動について		ふれあいランド岩手

② 県北圏域分会「カシオペア」

コロナ禍のため活動中止

③ 沿岸圏域分会「ウエルカム」

○月2回活動

・音楽療法

・理学療法士による活動

・体力測定等

④ 県南圏域分会

コロナ禍のため活動中止

7年間、ありがとうございました！！

会計監事の任務を終えて

千葉 カツ子

会計監事を任命され、「私にできるのかな」と本音は重荷に感じながら、早いもので7年が経ってしまいました。

平さんと一緒にコンビを組んで、年1回の会計が適正に使用されているのか、帳簿を見る度に、会費の中から行事や研修、会議への参加など、出費は多種多様に使用されていて、無事、間違いなく大任を果たしたと自負しております。

監事はおりますが、今後もお手伝いできることがありましたら、協力したいと思っておりますので宜しくお願いします。

千葉 カツ子 様

物静かな中に芯の強さを感じ、心強かったです。

監事の前には、理事をされていたり、会の為にご尽力なされておりました。

7年間、本当にありがとうございました。今後とも、どうぞ宜しくお願い致します。(小松原)

平 由美子 様

私事ですが、盛岡養護学校時代、音楽の大好きな娘の芽依さんの副担任として、平さんとは、ご縁がありました。「守る会」でまた、一緒にできるとは。

7年間、本当にありがとうございました。今後とも、どうぞ宜しくお願い致します。(小松原)

会計監事の任務を終えて

平 由美子

会計監査を7年間やったとはいえ、一年に一回、事務局の小松原さんや千葉カツ子さんと一緒に楽しい数時間です。

毎年4月のある一日、電卓片手に、通帳や会計簿、領収書等を照らし合わせて監査をします。

会費の配分、事務局や役員の仕事、各分会や分会、地域での活動状況などが数字に表れ、皆様のご苦労が伝わってきました。

また、重症心身障害児(者)を守る会の活動の流れがわかり、とても勉強になりました。

これも監事をさせていただいた貴重な体験のおかげと感謝しています

【お 知 ら せ】

北浦雅子会長のお別れ会

日時 令和5年6月25日(日)

会場 全国社会福祉協議会ホール
東京都千代田区霞が関3-3-2

過日、皆様にお知らせしたとおり、本会からは供花をお送りいたしました。守る会の黎明期から今日まで、私たちを導いてくださり、本当に感謝の念に堪えません。心より、お悔やみ申し上げます。

第60回重症心身障害児(者)を守る全国大会

月 日 令和5年9月9日(土)・10日(日)

場 所 リーガロイヤルホテルヒロシマ 電話 082-502-1121
〒730-0011 広島市中区基町6-78

日 程 1日目 13:00~行政説明 14:20~分科会 18:00~懇親会
2日目 9:00~基調講演 10:30~12:00 式典

【書き損じはがきの寄付ありがとうございました。】

百鳥 陽子 様 和泉 勝彦 様

匿名希望 様

皆さま、今年もよろしく申し上げます